

野村 のむら ようこ 羊子



と いっしょにつくる三鷹の会 ニュース no.49

■ 12月議会一般質問

◆一般質問 市民とともに生きるまちづくり

1) ごみの減量について

Q・ごみ有料化2年目の検証は？

A；リバウンドはなく減量を維持。

→震災の影響で不燃ごみは増加。不景気の影響で可燃ごみは横ばい。結果ほぼ横ばいを維持。

Q・手数料収入の使い先は？

A:ごみ収集費用に充てるが、収入2億6千万円の内7千万円を環境基金に積立。集団回収や太陽光発電設置補助等に使用。

→学校等の生ごみ処理機の設置に充てるとの提案は研究課題。

Q・さらなるごみ減量は市民の力を活用して実施を。転入者への説明、段ボールコンポストの普及、イベント時のリサイクル食器の活用等様々なアイデアに取り組めるのでは？

A:ごみ減量推進会議委員は、マイバック・キャンペーンの他に、新築マンションへの説明に行く職員に同行を検討。

→新たな市民力活用に前向き展開の方向性は見えなかった。



< 12月議会・日程 >

- 11月30日(水) 本会議 (一般質問)
- 12月1日(木) 本会議 (一般質問)
- 2日(金) 本会議 (議案上程)
- 6日(火) 議会運営委員会
- 7日(水) 本会議 (議案等審議)
- 8日(木) 総務委員会
- 9日(金) 常任委員会 (総・厚・文・ま)
- 12日(月) 常任委員会 (開催なし)
- 13日(火) 外環特別委員会
- 14日(水) 調布跡地特別委員会
- 15日(木) 議会運営委員会
- 16日(金) 全員協議会 (4次計)
- 20日(火) 本会議 (議案等審議)

2) 放射能汚染対策について

Q・保育園・学校給食食材の放射能検査

A:1回検査して不検出だった。今後の予定はない。食の安全は国と東京都の責務。市は他にもやることもある。「1食丸ごとミキサ検査」も文科省がやりたければやればいい。

→市民の命と健康を支えるのが市の仕事だと思うのだが、、、？

Q・空間線量測定は、雨樋の下など溜まりやすい場所の測定と、2μSV/h以上での洗浄を評価。さらに、市民を研修をして全市民的な測定をしてはどうかと提案。

A:簡易測定器は反応がまちまちなので、市民測定の予定なし。→市が専門的に測定を「淡々と積み上げる」のは大事。一方で、どう測定したら良いのか、市民が戸惑う状態だからこそ、市が研修等で正しい情報と知識を提供して、なおかつその力を活用してはとの提案だったのだが、、、残念。

→今回も市民の不安解消のための具体的行動が見えないまま

★11/26、清原市長は山口芳裕杏林大教授の講演を聴講。低量被曝の影響はデータなしとして「100mSv以下は影響なし」とする内容だった。放射能汚染を過小評価するのは疑問。

◆総務委員会

付託された4議案を審査。

・「三鷹市住民基本台帳カード条例改正」は、個人情報保護、民間企業に依存するネット・セキュリティの観点、さらに将来的に市民カード・自動交付機を廃止する方向で現実を先行させる事への危惧等を表明して反対。

・「一般会計補正予算(第3号)」、公会堂整備工事の工程見直しは別館と公会堂工事を分けたため。電気バスは既存ルートダイヤには大綱困難なので事業見送り。等抱き合わせの案件の確認の後、学校給食事業の民間業務委託は即応性に疑問が残るので反対とした。

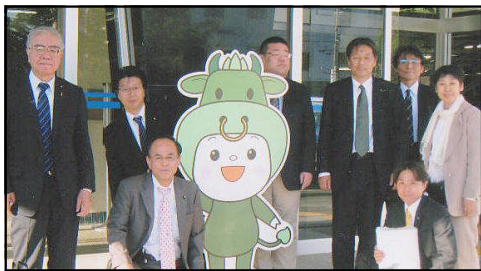
・「三鷹市職員退職手当支給条例改正」「国保特会補正予算(第1号)」は賛成。

・総務部報告で、「指定管理者の評価」報告は中身のない内容で問題。

・企画部は、跡地再開発事業の借金見通しを報告。4次計と合わせて次号報告。



◆総務委員会視察



◎三重県松阪市は、市長マニフェストを取り入れた総合計画策定。

三鷹市と同様4年ローリングでマニフェスト反映を図る。意欲的な若い市長だが、市が「マニフェスト・レポート」を作るのはどうかと思う。中身はマニフェストを市の施策に落とし込んだものなら、市の施策の進捗状況のレポートでもいいはず。政治的センスの問題か。

◎兵庫県三田市は、地域の防災マップ作成事業。自治会ごとにハザードマップを見ながらシミュレーションするモデル事業を実施。地域要援護者事業とあわせて、その場その場での避難経路や避難場所等等を検討するのは重要だと思う。

☆いっしょ広場Part5☆学習会～土壌・食品の放射線を測るということ～

(12月3日(土))、皆様のご参加ありがとうございました。充実した内容でした。

講師の箕輪はるかさん(慈恵医大アイソトープ研)が実際にベクレルモニター(LB200)で様々な食品を測りました。ご準備いただいた北海道と東北の小豆、福島産タケノコ。参加者持参の三鷹産銀杏、鳥取産牛乳等々。1つの試料を測るのにだいたい20分かかり、7、8種類を測ることができました。結果を誤差と見比べて、数値のとらえ方の解説もいただきました。測定の間には、箕輪さんが放射能についてわかりやすい解説をしてくださいました。

また、福島の田畑の土を、空間線量計アロカ171で測定。参加者がお持ちの簡易測定器で実際に測ってみて、その数値の違いを実感しました。測定器の使い方への理解も深まりました。



朝からいろいろとご準備いただいた箕輪さんに感謝！また企画する予定です。

■にじ色のつばさ会派視察

11/8、会津坂下町議会、9日に会津若松市議会に議会改革について会派で視察。

会津坂下町はこの9月に議会基本条例を制定。

議会報を元に議会報告会を実施済。もの申したい住民が来るので一方的な報告ではなく相互の意見交換の場としているという。議会内部では全員協議会で議員だけで議論し合意形成を図る。定例議会の会期を3ヶ月間としてほぼ通年議会実施を試行中。来年の選挙を経て、会期等については再検討予定。

会津若松市議会は、議会改革で全国から視察が殺到する。前夜には住民と議会の懇談会も視察も小樽とダブル。議員に名指して議案への賛否を問う質問も飛び。これら住民懇談会での意見は全て政策提言として受け止め、議会内の政策検討委員会で議論。この3月には1年間のまとめを提言書として市に提出するなど、政策提言のサイクルができています。



議会改革を議論する場合は、議長の付属機関と位置づけ、学識者や公募市民などの外部委員も入れた。議会改革の目的が、政策立案・提言のための議会基本条例と目的が明確。更に議決責任の重さを受け止めるものとなっている。報酬・定数は「議員」「議員の仕事」とは何かの洗い出しをして議論。見えない「質」をどう勘案するかが課題とのこと

どちらの議会も、説明の基本は議会事務局だが、議員が説明員として同席。議員の構えが違ふと実感。

■さよなら原発！三鷹アクション12.11パレード

実行委員として準備から参加。440人以上の個人と33団体の賛同。当日参加者は380人。沢山のひとと和やかに楽しく歩きました。



野村羊子といっしょにつくる三鷹の会No.49
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-30-12-104
Tel&Fax:0422-72-2425
E-mail: issyonokai@nomura-yoko.net
Url: http://www.nomura-yoko.net